

避難行動要支援者支援制度

を「存じですか?

問 本庁舎地域福祉課（13番窓口）

TEL 0857-30-8202 FAX 0857-20-3906

本市では、災害時に自ら避難する」とが難しく、特に支援を必要とする高齢者や障がいのある人など（避難行動要支援者）が安全かつ速やかに避難できる体制を整えるため、「避難行動要支援制度」を推進しています。

避難行動要支援者支援制度とは

避難行動要支援者支援制度とは、避難行動要支援者が避難を支援する人（支援者）や緊急連絡先などの情報を市に登録し、その情報を地域の支援組織や支援者に提供・共有しておくことで、災害時に情報伝達、避難誘導、安否確認など、地域の支援を受けられるようになります。

登録方法

登録を希望する人、または既に登録済みで登録内容に変更がある人は、お

この制度は災害が発生した時に近所で助け合うことを目標としたものです。災害時は自分の命は自分で守る「自助」が基本となります。が、隣近所がお互いに助け合う「互助」の精神で対応することも大変重要になります。地域のみなさんには普段からの見守りや災害時の援助など、可能な範囲での「協力をお願いします」。



地域のみなさんへ

「男女共同参画白書」を「存じですか?」

固定的な性別役割分担意識とは、個人の能力とは関係なく、「男は仕事・女は家庭」というように性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方のことです。

内閣府は毎年、男女共同参画社会の現状などをまとめた「男女共同参画白書」を発表しています。令和7年版の白書の中で固定的な性別役割分担意識について言及がされており、調査結果を踏まえながら個人や地域にもたらす影響を考えます。

内閣府が令和6年12月に全国の18～39歳の男女1万人を対象に実施した意識調査において、固定的な性別役割分担意識の1つである「夫は仕事、妻は家庭」と

調査結果から見る個人や地域への影響

男性も、固定的な性別役割

本市の取り組み

本市では、鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」で、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発展示を行っています。また、関連する講座の開催や図書の貸し出しなど、男女共同参画への理解促進に向けた普及啓発活動を行っています。ぜひお立ち寄りいただき、こうした問題の解消に向けて、ともに考えましょう。

【質問項目】

地域や親せきの集まりでの食事の準備やお茶出しは女性の仕事

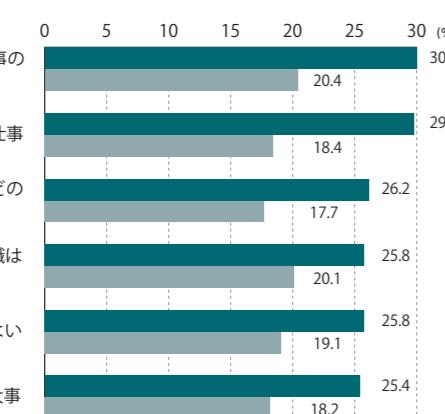
家事・育児・介護は女性の仕事

職場でのお茶出しや事務などのサポート業務は女性の仕事

自治会などの重要な役職は男性の仕事

家を継ぐのは男性がよい

個人の価値観よりも世間体が大事



◆図1 出身地域における固定的な性別役割分担意識等の有無（男女別）

令和7年版男女共同参画白書内一部抜粋
・「中学校卒業時点であなたが住んでいた地域で、質問項目のようなことはありましたか。最もあてはまるものをお選びください。（それぞれ1つずつ）」の質問に対し、「よくあった」「時々あった」と回答された割合。

避難行動要支援者支援制度

この制度を築いていく中で、支援を必要とされている人を見守ることのできる地域住民同士の結びつきと、お互いに助け合える地域づくりを目指します。

